

酷暑の後に日本列島にやってきた台風10号は長く居座り、各地で大小さまざまな被害をもたらしました。筆者は約30年前にマニラに4年間ほど住んでいましたが、当時フィリピンを襲った台風はしばしば1週間から10日くらい居座り、あっという間に過ぎ去る日本の台風とは違うなあと思っていましたが、今回の居座り型台風は日本の熱帯化なのだろうかと考えたりしてしまいます。

さて、本号は「小児の鉄代謝」を取り上げ、総論としての小児の鉄代謝、各論として心不全・慢性腎臓病・感染症と鉄代謝、そして鉄欠乏性貧血と鉄過剰症の治療について6名（筆頭著者）の先生方にまとめて頂きました。小児の場合は成長の過程に応じて鉄の需要は変化し、とくに乳児期における鉄欠乏は将来の神経発達にもかかわるという重要性、思春期における身体の急速な成長に加えて生活習慣にかかわる鉄欠乏頻度の増加の問題点、一方では積極的な排出機構が存在しない鉄が過剰になるという注意など、あらためて小児における鉄について多くを学ぶことができました。

総説として生直後の腸内環境とその後のアレルギー発症への関与など「アレルギー疾患とMicrobiome」として興味深い原稿を頂きました。

た、目で見ると小児科（百日咳と喘息発作と皮下・縦隔気腫）、診療（機能的嚥下障害）・症例（診断に時間を要した脳腫瘍、無症候性特発性頭蓋内圧亢進症、大網捻転症、てんかん発作に合併した大腿骨近位部骨折）、そして毎号の日本医科大学小児科学教室からの海外論文紹介としてアレルギーに関する4編など、興味深い論文等が掲載されています。

ともすると過去のものと考えがちな寄生虫の診断について中村ふくみ先生にトピックスとしてまとめて頂きましたが、表2の「虫体が確認された時の考え方と検査法」などは、そっと診療机の中に入れておくことをお勧めします。また、能登大震災の中で苦勞された被災病院における急性期小児診療をどのように行ったかについて「わが国ではいつでも起こり得ることであり被災者になる可能性があり、そのために体験を記録し、将来の備えに活かす必要がある」としてその経験を公立能登病院小児科の先生方より寄稿頂きました。

本号が手元に届く頃には秋も深まってくるかと思います。秋の風情を楽しみながら、どうぞ本誌9月号にも目をお通しください。

（岡部 信彦）

編集：中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第65巻 第9号 9月号

2024年9月1日発行（毎月1回1日発行）

定価3,190円（本体2,900円＋税10%）

年間購読料金

定価48,950円（本体44,500円＋税10%）

〔年間13冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03-3811-7165〔雑誌部直通〕

Tel 03-3811-7184〔営業部直通〕

Fax 03-3813-0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03-3637-0005

広告申込先 株式会社文京メディカル Tel 03-3817-8036

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。